

あなたの願い届ける日本共産党

4月26日
町会選挙投票日

日本共産党のあなたのお力、お声ください

輝け憲法！

憲法を守り抜く

・住民福祉の増進が、憲法が定めている自治体の仕事です。
・この視点の持ち方ひとつで、施策の中身が変わります。
・その基準は、憲法が定めている生存権の保障その物です。
・これは、自治体が憲法を政策に活かせば必ず実ります。
・川西町がこうした政策判断をすることで、自治体の責務が果たせます。

- ◎保育など、非婚ひとり親対策に関して料金算定へのみなし控除の適用
- ◎眼内レンズの保険適用 ◎結崎駅券売機の高額紙幣使用可へ
- ◎妊婦検診の補助回数引き上げ ◎高齢者肺炎球菌ワクチンの接種助成
- ◎自治会への助成金実施 ◎ごみの分別収集 ◎学童保育の実施
- ◎踏切拡幅化の助勢 ◎災害救援物資の備蓄 ◎こすもす号の実施
- ◎子どもの任意ワクチン接種助成 ◎情報公開条例の制定
- ◎中学生までの子どもの入院医療費無料化 など

住民の意を汲み、願いに応える身近で役立つ町政を

住民参加の町づくり

- ・町づくり懇談会の開催を(自治会ごとに)
- ・「役場の取り組み出張講座」の開催を
- ・議会のネット中継など、情報発信と公開を

地域経済活性の町づくり

- ・デマンドタクシーなど地域交通の拡充を
- ・太陽光など自然エネルギーの活用促進策を
- ・住宅リフォームへの助成制度を

子どもと高齢者を応援する町づくり

- ・窓口負担の無い子どもの医療費助成制度を
- ・中学校卒業までの医療費助成を(通院も)
- ・後期高齢者医療の自己負担軽減を
- ・学童保育の拡充を
- ・病後児保育の拡充を
- ・全学年で少人数学級の実施を

健康増進の町づくり

- ・人間ドック助成の復活を
- ・予防保健事業の強化を
- ・学校の普通教室へクーラーの設置を

川西民報

発行 日本共産党川西支部

2015年4月 号外 連絡先 43-2740

安倍暴走政治ノ一

日本共産党

戦後70年、「海外で戦争をする国づくり」にストップを!

男子青年・男子学生の皆さん、

あなたは戦場に行きますか?

今、安倍政権は、日本の自衛隊が海外のどこでも活動ができる仕組みづくりを進めています。それは、あの集団的自衛権の名の下に、我が国の防衛とは直接関係が無くても、たとえ地球の裏側であっても同盟国のアメリカが起す戦争と一緒に参加できる仕組みに変えてしまうからです。

これまで自衛隊の海外派遣は有りましたが、直接の戦闘地域へは行けませんでした。また、いかなる武力行使もできませんでした。それは、すべて憲法が禁止しているからです。

ところが今度は何故行けるのか?それは、昨年7月の政府の解釈変更による一片の閣議決定で勝手に決めたからで、でたらめも甚だしい限りです。

女性の皆さん、あなたは夫や恋人、
息子さんを戦場に送りますか?

こんなやり方で戦場になんて、みんな心配し怒っておられます。

国際的にはどうでしょうか。これまで日本の国が果たしてきた国際貢献に対して、途上国からは、日本は武器を売りつけてくるのではなく、道路を付けたたり、学校を建てたり、水道を通したり、我々の暮らしを応援してくれた素晴らしい国だ。と、高く評価されています。これが、今日まで世界に対して果たしている日本の国際貢献です。

ところが、これからは、戦地に直接出向いて米軍の支援に回れることになりますので、相手(国であれテロ組織であれ)からは、狙われる対象となり、現地に出向く自衛隊員はもちろんの事、一般の日本人に対してもリスクを高める方向に進もうとしているのです。

暴走許さず平和を守る、日本共産党

日本共産党は、党を創って93年、首尾一貫して反戦平和と国民主権を唱えてきた政党です。戦前は非国民と言われても、この主張は曲げませんでした。この党の議席の優劣で情勢が大きく切り替わる事は間違いありません。

4月26日

は、平和を願うあなたの想いを

日本共産党全国に届けよう